

芸術

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	書道Ⅲ	2	3年次・I2群	選択

目 標			履修の条件・連絡		
書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。			・2年次で書道Ⅱを履修していること。		
使用教科書 (出版社)	書Ⅲ (光村図書)		副教材 (準備物)	大筆 小筆	
学 習 の 年 間 計 画	期	月	学習内容(単元・項目)	学 習 の ね ら い	
	1 学 期	4月	1 漢字の書を探究しよう	・書道Ⅰ、Ⅱの学習を踏まえ、時代を超えて受け継がれてきた伝統を感じつつ、漢字の書の多様性を楽しむ。	
		5月	・篆書 ・隸書	・古代特有の複雑な構造と律動的な描線を学び表現する。	
		6月		・素朴で力強い書風の「古隸」と多彩な表現の「八分隸」を学ぶ。	
7月			・いくつかの古典を比較し、書風の違いを見極めた上で臨書する。		
2 学 期	9月	・行書	・書聖羲之の書道史における位置付けを知り、書風を感受し表現を試みる。		
	10月		・行書・草書の特徴とその多様な美を異なった書風を備えた書家の書から学び、理解と関心を深め表現する。		
	11月	・楷書	・三筆、三跡について学ぶ。		
	12月		・文字の造形や運筆リズム、書風に現れた個性を味わう。		
2 漢字の書の創作		・自らの制作意図に基づき詩文の選定をする。			
		・紙面構成や余白についてよく観察し、バランスを考慮する。			
		・相互鑑賞により、互いの良さを伝えあい、成就感を味わう。			
3 学 期	1月	3 漢字仮名交じりの書の学習	・現代の新しい表現を鑑賞し作者の意図が個性的・創造的に作品に反映することを体感したうえで、自分自身を表現した作品にする。		
				・相互鑑賞により、互いの良さを伝え合い、成就感を味わう。	
学 習 評 価	観	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
	規 準	書を愛好し、書の文化と伝統を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わえたか。	感性を働かせて書の良さや美しさを感じとり、個性を生かして豊かに発想し、創造的に表現を追求できたか。	個性豊かに創造的な表現をするために、素材を生かした効果的な表現の技能を身に付いたか。	書の美の多様性と作品の特徴を把握し、日本及び中国等の書の伝統と諸文化との関連などを理解し、その良さや美しさを個性豊かに味わえたか。
	手 段	・制作の様子 ・プリント ・作品	・制作の様子 ・プリント ・作品	・制作の様子 ・プリント ・作品	・鑑賞の様子
	各学期や年間の学習状況の 評価方法		・期末評価・・・100点法＝(提出作品の実技評価)×0.6+(学習プリント・学習活動への参加の仕方や態度・レポート・出欠席状況)×0.4 ・学年末評価・・・(1学期成績+2学期成績+3学期成績)÷3 5段階評価		
学習上の 留意点	・半紙や墨などの消耗品は学校で一括購入するので教材費(2000円程度)を徴収する。 ・定期考査は行わないので、積極的に授業に参加し、作品を必ず完成させること。				